

米国マイクロキャップ株式ファンド

追加型投信／海外／株式

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は



商号等：三井住友信託銀行株式会社
登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

設定・運用は



商号等：SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

マザーファンドの運用指図に関する権限の一部を委託

WELLINGTON
MANAGEMENT®

米国マイクロキャップ株式会社における魅力的な投資機会と
ウエリントンの運用力を掛け合わせ、
米国マイクロキャップ株式の投資妙味を日本の投資家の皆さまにお届けします。



◆————— 米国マイクロキャップ株式の魅力 —————◆

- 米国マイクロキャップ株式[※]は、調査するアナリストの数が少なく、情報が限定的なことからまだ発掘されていない大きな成長余力を持つ企業が眠っている可能性があります。
- 当ファンドは、マイクロキャップ株式の中でも財務内容が良好で競争優位性、成長性、収益性の高いハイクオリティ企業へ投資を行います。
- 実質的な運用は、米国マイクロキャップ株式戦略において約40年の運用実績を誇る「ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー（以下、ウエリントン）」が行います。

※当ファンドでは時価総額2.5～20億米ドル（約400～3000億円）*までの超小型企業の株式を指します。

*2024年12月末現在、1米ドル=157.2円で円換算

（出所）Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

————— 当ファンドのポイント —————

- 1** 米国マイクロキャップ株式への魅力的な投資機会
- 2** 市場調査の行き届いていないハイクオリティ企業に投資
- 3** 世界最大規模の非公開独立系運用会社「ウエリントン」による運用



米国マイクロキャップ株式戦略における運用実績

長期で優れたパフォーマンスを実現

当運用戦略は銘柄選択能力の高さから、設定来のパフォーマンスで年率10%超を獲得しています。また、設定来から保有していた場合の当初元本は、ベンチマークを大幅に上回り約52倍まで拡大しています。

当運用戦略の長期パフォーマンス（月次、米ドルベース、信託報酬相当（年率1.958%、税込み）控除後）

(1984年12月～2024年12月、月次)



※当運用戦略のコンポジットパフォーマンスを示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。上記は過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆・保証するものではありません。

※1984年12月末を100として指数化

※当運用戦略:「Emerging Companies」のコンポジットパフォーマンス (当ファンドの信託報酬相当 (年率1.958%、税込み) 控除後)。設定日:1984年12月31日

ベンチマーク:1984年12月から2015年9月まではラッセル2000指数 (配当込み)、2015年10月から2024年12月まではラッセルマイクロキャップ指数 (配当込み) を繋ぎ合わせたもの

(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

市場環境等についての評価、分析等は将来の運用成果を保証するものではありません。



米国マイクロキャップ株式戦略における運用実績

当運用戦略を10年間保有した場合

当運用戦略を10年間保有した場合、マイナスの回数は0回で、リターンの平均は約170%となりました。

当運用戦略の長期パフォーマンス（月次、米ドルベース、信託報酬相当（年率1.958%、税込み）控除後）

（投資開始日：1984年12月～2014年12月、月次）



※当運用戦略のコンポジットパフォーマンスを示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。上記は過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆・保証するものではありません。

※当運用戦略：「Emerging Companies」のコンポジットパフォーマンス（当ファンドの信託報酬相当（年率1.958%、税込み）控除後）

（出所）ウエリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

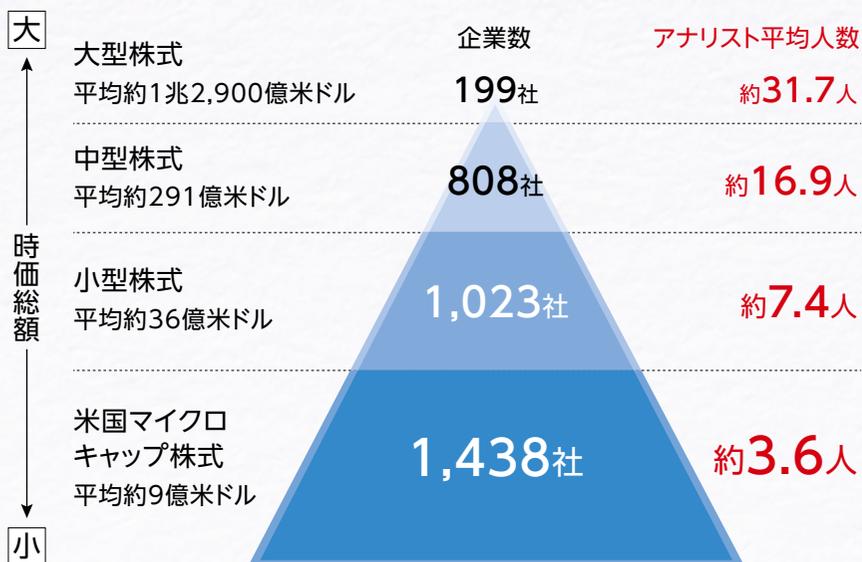
市場環境等についての評価、分析等は将来の運用成果を保証するものではありません。

1 米国マイクロキャップ株式への魅力的な投資機会

知られざる有望企業への投資機会と企業調査の重要性

- 米国マイクロキャップ株式を担当するアナリストの数は大型株式と比べて少なく、企業に関する情報が限定的なことから、未発掘の魅力的な企業が存在していることが考えられます。
- ただし、投資にあたっては綿密な企業調査が重要です。当運用戦略は慎重な銘柄選択により、堅調な運用実績を誇っています。

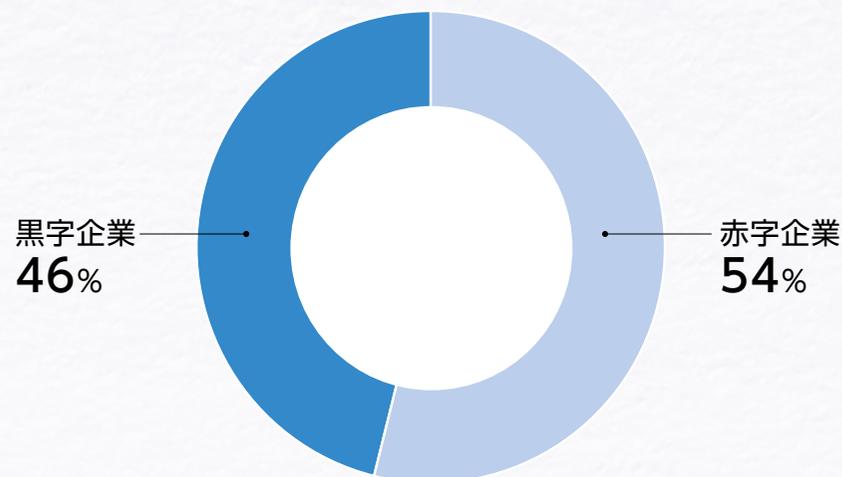
時価総額別 企業数とアナリストの平均人数 (2024年12月末時点)



※大型株式: ラッセルトップ200指数 中型株式: ラッセルミッドキャップ指数
小型株式: ラッセル2000指数構成銘柄のうち、ラッセルマイクロキャップ指数構成銘柄と重複しない銘柄
米国マイクロキャップ株式: ラッセルマイクロキャップ指数

(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド、FactSet、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

綿密な企業調査の重要性 (2024年12月末時点)



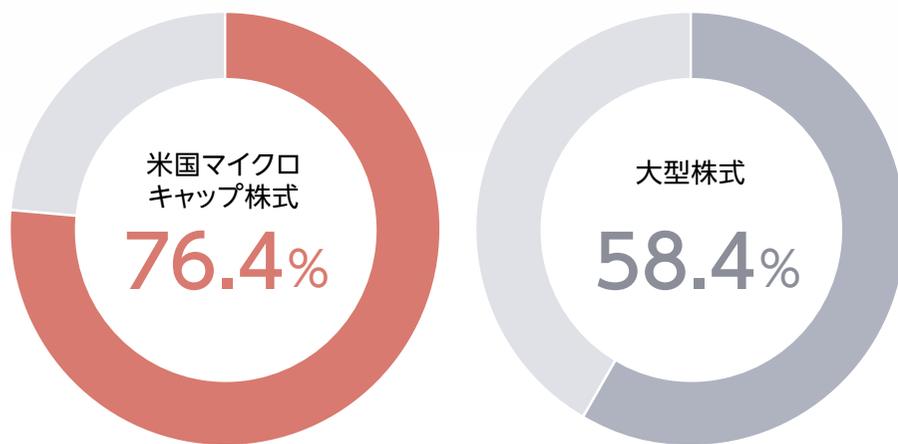
※ラッセルマイクロキャップ指数の構成銘柄で財務内容が把握できる企業 (約1,200社) を基に算出

米国新政権の恩恵を受けやすい米国マイクロキャップ株式

- トランプ政権のアメリカ・ファースト政策は米国内需要を喚起すると考えられ、ヘルスケアや金融、資本財*・サービスと内需系セクターが中心のマイクロキャップ株式にとっては追い風となることが期待できます。

* 商品や製品を生産するために用いられる生産物(財)で、工場や建物、機械、道具などが該当

米国内における売上比率 (2024年12月末時点)

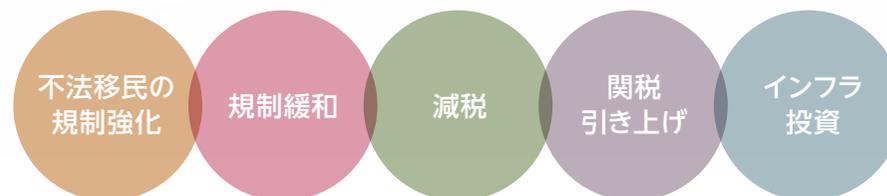


※米国マイクロキャップ株式: ラッセルマイクロキャップ指数
大型株式: S&P500種指数

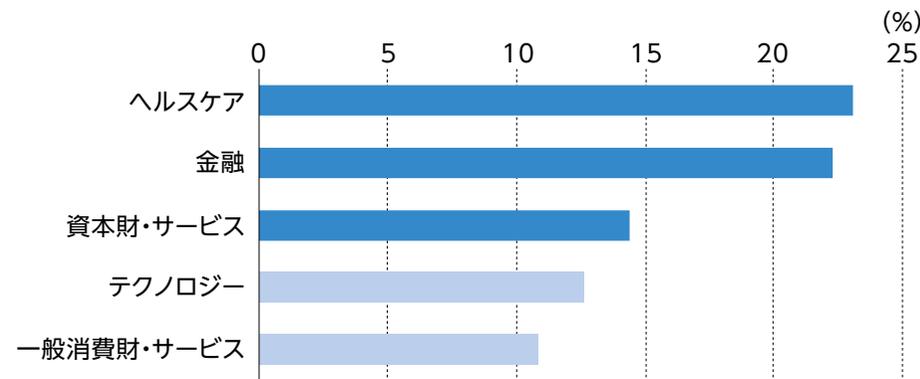
米国マイクロキャップ株式の米国内売上比率は76.4%と大型株式の58.4%を上回り、米国内売上比率が相対的に高いことが特徴です。

(出所) 各種資料、報道等、ウエルントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

トランプ政権の主な政策 (2024年12月末時点)



米国マイクロキャップ株式の業種別比率 (2024年12月末時点)



※上記グラフは、ラッセルマイクロキャップ指数における上位5業種

米国マイクロキャップ株式への投資妙味

- 過去10年間の米国マイクロキャップ株式のパフォーマンスを振り返ると、2019年以降、大型株式のパフォーマンスに遅れをとっています。
- 大型株式の中でも特にマグニフィセント7*といった特定の銘柄の寄与が大きく、今後銘柄の調整が進み現状の不均衡が解消されれば、米国マイクロキャップ株式に注目が集まり、適正に株価が評価されることが期待されます。

*米国を代表するIT企業7社(アップル、アマゾン・ドット・コム、マイクロソフト、アルファベット、メタ・プラットフォームズ、エヌビディア、テスラ)の総称

米国マイクロキャップ株式および大型株式の推移



※2014年12月末を100として指数化

※マイクロキャップ株式: ラッセルマイクロキャップ指数 大型株式: S&P500種指数

※すべて米ドルベース、配当込み

(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

(ご参考) ITバブル期における株価指数の推移



※1996年12月末を100として指数化

※小型株式: ラッセル2000指数 (ラッセルマイクロキャップ指数の設定が2005年6月以降のため、米国小型株式の代表的な指数であるラッセル2000指数を使用)

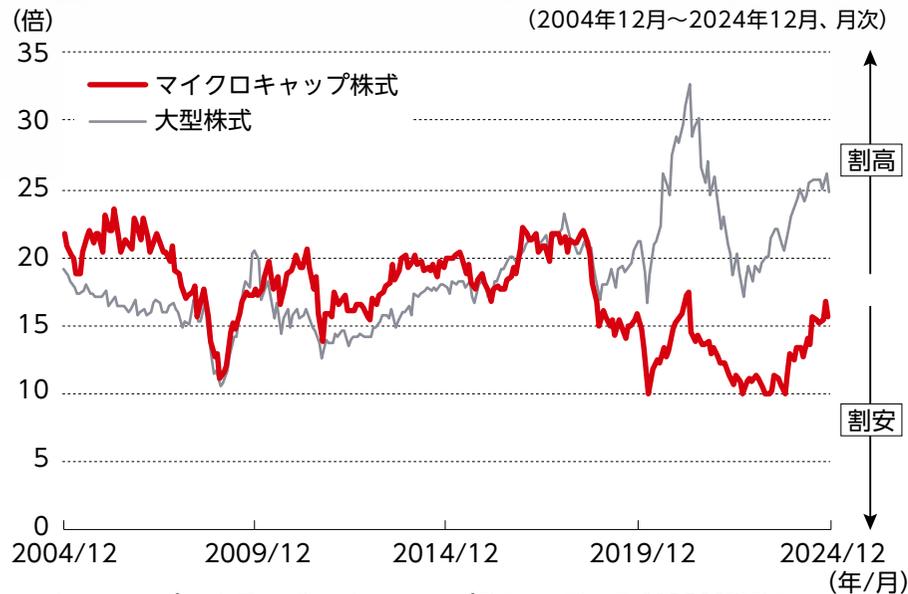
大型株式: S&P500種指数

※すべて米ドルベース、配当込み

魅力的な投資機会と高い業績期待

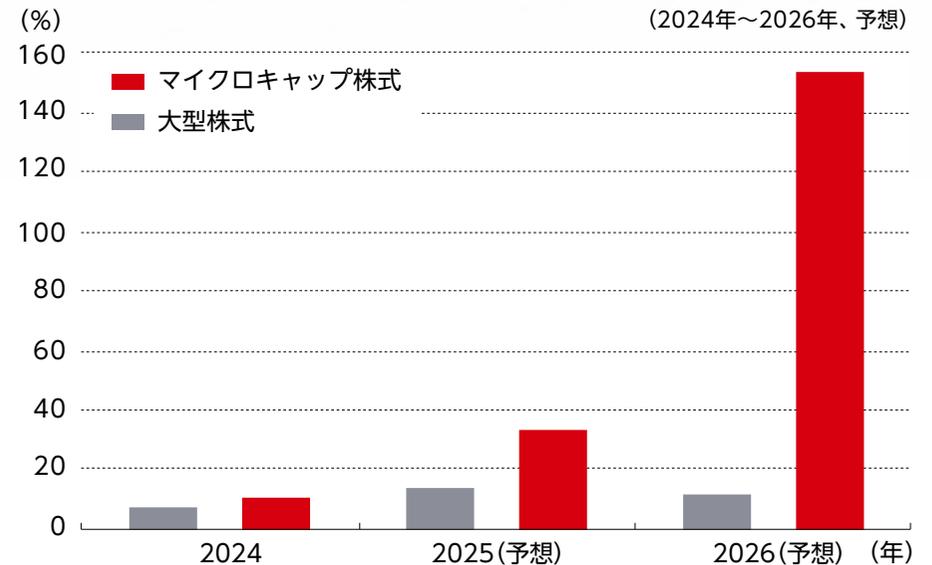
- 大型株式と比較して米国マイクロキャップ株式は過去20年間でみて割安な水準にあります。
- 米国マイクロキャップ株式に分類される企業の1株当たり利益 (EPS) の成長率は、2025年以降も大型株式を上回る成長が予想されています。

株価収益率 (PER) の推移



※マイクロキャップ株式: ラッセルマイクロキャップ指数 大型株式: S&P500種指数
※すべて米ドルベース、配当込み

1株当たり利益 (EPS) の成長率の推移



※マイクロキャップ株式: ラッセルマイクロキャップ指数 大型株式: S&P500種指数
※すべて米ドルベース、配当込み
※2025年、2026年のデータはBloombergによる予想値

株価収益率 (PER) とは... PER (ピーイーアール) は「Price Earnings Ratio」の略称で、「株価が企業の利益と比べて割高か、割安か」を判断するための指標です。

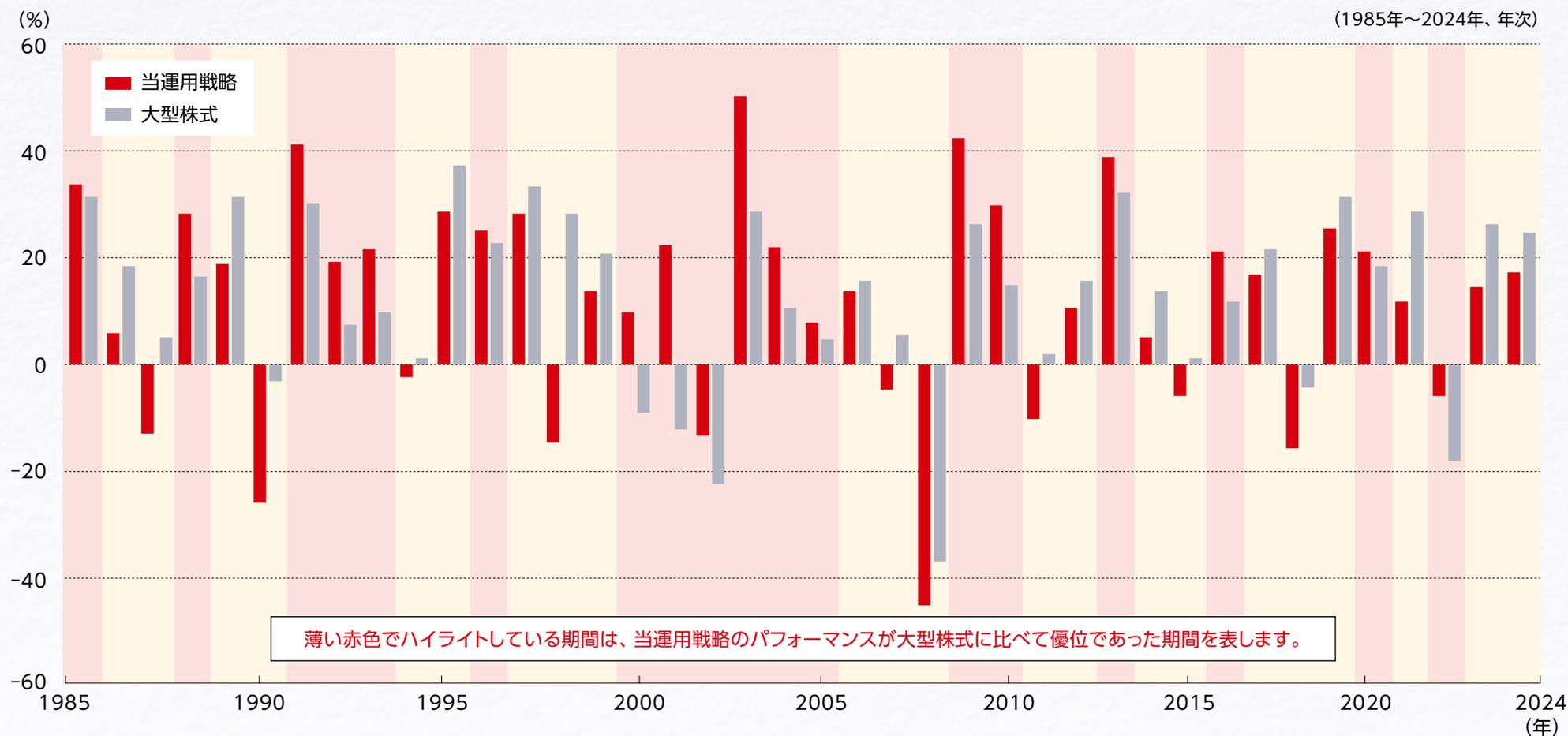
(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

市場環境等についての評価、分析等は将来の運用成果を保証するものではありません。

1 米国マイクロキャップ株式への魅力的な投資機会

<ご参考> 当運用戦略と大型株式の年間騰落率推移

当運用戦略と大型株式の年間騰落率の推移をみると、それぞれ優位な期間が循環してきたことが確認できます。



※当運用戦略のコンポジットパフォーマンスを示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。上記は過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆・保証するものではありません。
※当運用戦略:「Emerging Companies」のコンポジットパフォーマンス(当ファンドの信託報酬相当(年率1.958%、税込み)控除後) 大型株式:S&P500種指数(米ドルベース、配当込み)
(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

ハイクオリティ企業に注目

当ファンドでは、アナリストによる精緻な財務分析等を通じて、財務内容が良好で競争優位性、成長性、収益性の高いハイクオリティ企業に着目しています。

ハイクオリティ企業の定義

ニッチな産業における
競争優位性の高さ



実績ある
経営陣



強固な
バランスシート



魅力的な
バリュエーション



※当ファンドにおけるハイクオリティ企業は、上記のいずれか一つまたは複数の特徴を有する企業を指します。

(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

2 市場調査の行き届いていないハイクオリティ企業に投資

グローバル企業も注目した銘柄に投資

- 米国ではここ数年、年間約20,000件前後のM&A（合併・買収）が実施され、活発な企業買収が行われています。有望なマイクロキャップ企業は買収対象になりやすく、当運用戦略における多くの投資先企業も買収対象となってきました。
- 一般的に買収価格には株価に対するプレミアムが上乘せされるため、買収対象となった被買収企業の株式は株価上昇が期待されます。

買収企業

Merck & Co., Inc.

—メルク—

グローバル医薬品メーカー

業種 ヘルスケア 設立 1891年

過去投資銘柄
(被買収企業)

Prometheus Biosciences Inc.

—プロメテウス・バイオサイエンス—

炎症性腸疾患の治療薬に関するバイオテクノロジー企業

業種 ヘルスケア 設立 2016年

■ 過去投資銘柄の概要

プロメテウス・バイオサイエンスは、主に潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患の治療薬と診断薬の開発に特化したバイオテクノロジー企業です。主力製品である「PRA023（ヒト化モノクローナル抗体）」は炎症性腸疾患の治療薬として注目されています。

■ ウェリントンによる投資の観点

炎症性腸疾患は患者数の増加により治療薬の市場規模拡大が予想されています。こうした中、プロメテウス・バイオサイエンスの「PRA023」は治療薬として注目されており、株価が割安だったことを背景に投資を開始しました。

■ メルクによる買収理由

プロメテウス・バイオサイエンスの「PRA023」は、炎症性腸疾患の治療において有望な候補とされており、同分野での存在感を確立するため、メルクは2023年4月16日に同企業の買収を発表しました。

■ プロメテウス・バイオサイエンスの株価推移と買収プレミアム*



*買収プレミアムとは、M&Aの対価として支払う金額のうち、市場価格と買収額の差額のこと

※当運用戦略における保有期間：2022年12月～2023年6月

※業種はGICS（世界産業分類基準）による分類 ※上記取引は2023年6月16日に完了しました。

※上記は、当運用戦略における過去の投資事例であり当ファンドの実績ではありません。また、個別銘柄の推奨および組入れを示唆・保証するものではありません。

(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

市場環境等についての評価、分析等は将来の運用成果を保証するものではありません。

2 市場調査の行き届いていないハイクオリティ企業に投資

組入銘柄のご紹介 ①

Blue Bird Corporation

—ブルーバード—

スクールバス製造のリーダー企業

業種 資本財・サービス 設立 1927年



企業概要 同社は、電動バス等の低排出およびゼロ排出スクールバスの設計や製造におけるリーダー企業。

着目ポイント 米国のスクールバス業界は主に3社で構成されており、同社はその一社。寡占的な市場の中で同社製造のスクールバスは、二酸化炭素の低排出やゼロ排出という観点で高く評価されており、市場シェアの高さと今後の成長性に期待。

■ 株価推移と当運用戦略における組入比率の推移

(2014年12月～2024年12月、月次)



※上記は当運用戦略における組入銘柄の紹介を目的としたものであり、記載銘柄の推奨および個別銘柄の組入れを示唆または保証するものではありません。

※写真はイメージです。 ※業種はGICS (世界産業分類基準) による分類

(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

StoneX Group Inc.

—ストーンXグループ—

グローバルに金融サービスプラットフォームを運営

業種 金融 設立 1924年

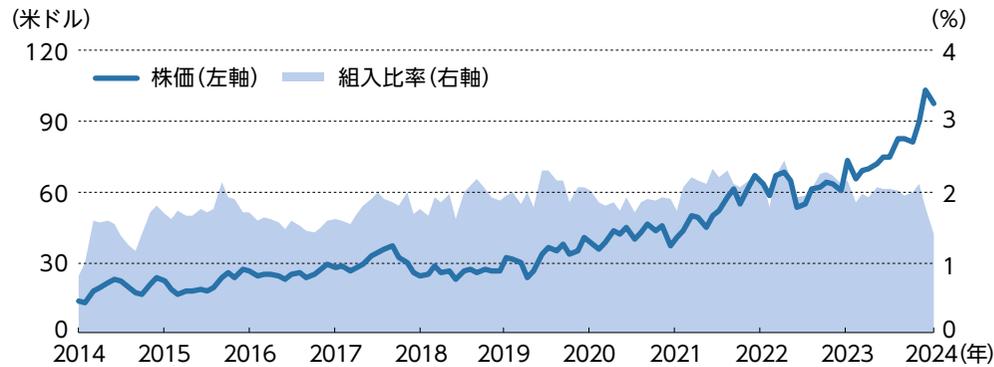


企業概要 同社は、機関投資家、個人投資家向けに外国為替取引やデリバティブ取引のマーケットへのアクセスプラットフォームの管理など様々な事業を180カ国超の国で展開。

着目ポイント 同社の豊富なプロダクトラインアップにより、同社プラットフォームを活用した取引の増加が見込まれ、顧客預かり資産の拡大が期待される点を評価。

■ 株価推移と当運用戦略における組入比率の推移

(2014年12月～2024年12月、月次)



2 市場調査の行き届いていないハイクオリティ企業に投資

組入銘柄のご紹介 ②

Pason Systems Inc.

—パソン・システムズ—

掘削リグ^{※1}向けの計測および
データ管理システム市場におけるリーダー企業

業種 エネルギー 設立 1978年



企業概要 同社は、北米を中心に掘削リグ向けの計測およびデータ管理システムを提供。12カ国で事業を展開。

着目ポイント 高い顧客維持率やインクリメントマージン^{※2}のほか、良好なバランスシートを評価。

※1 掘削リグ: 地下に眠る石油・天然ガスを採りだすための井戸を掘る装置

※2 インクリメントマージン: 企業が追加的な売上を獲得する際に、その売上に対してどれだけの利益が増加するかを示す指標

■ 株価推移と当運用戦略における組入比率の推移

(2014年12月~2024年12月、月次)



※上記は当運用戦略における組入銘柄の紹介を目的としたものであり、記載銘柄の推奨および個別銘柄の組入れを示唆または保証するものではありません。

※写真はイメージです。 ※業種はGICS (世界産業分類基準) による分類

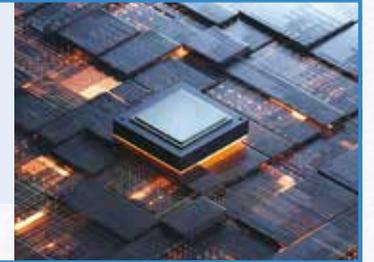
(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド、Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

Alpha and Omega Semiconductor Limited

—アルファ・アンド・オメガ・セミコンダクター—

パワー半導体^{※1}のグローバルサプライヤー

業種 情報技術 設立 2000年



企業概要 同社は、パワー半導体の設計、開発等事業を展開。幅広いパワー半導体関連製品をグローバルに提供しており、特にパワーMOSFET^{※2}のラインアップは充実。

着目ポイント 急速充電、高速データ転送、映像伝送に対応した最新のUSBコネクタ規格であるUSB-C (USB Type-C) の市場が拡大中。同社は、USB-Cに関連する製品を多数提供しており、成長性に期待。

※1 パワー半導体: 電力を制御、変換するための半導体デバイス

※2 MOSFET (モスエフィーター): 電界効果トランジスターの1種

■ 株価推移と当運用戦略における組入比率の推移

(2014年12月~2024年12月、月次)



市場環境等についての評価、分析等は将来の運用成果を保証するものではありません。

グローバルな協働体制を活かした歴史ある運用会社「ウエリントン」



- ウエリントンは世界有数の独立系資産運用会社です。
- 株式非公開の独立系資産運用会社であることが、株主の意向に左右されることなく長期の視点に立った運用成果の追求を可能にします。
- 長期の視点に立ち、高い専門性と強固な運用基盤のもと、長年にわたり世界の金融市場で多様な投資機会を追求してきました。

ウエリントンとは

“すべては、お客様のための資産運用”という信念のもと、全運用戦略の8割^{※1}が超過収益を実現

数字でみるウエリントン (2024年9月末時点)

運用資産総額^{※2}

約 **185** 兆円

創業1928年

まもなく **100** 年

運用プロフェッショナル^{※3}

906 名

運用プロフェッショナルの
平均経験年数

17 年

協働の文化・活発な議論から生まれた精度の高い投資判断

“ウエリントンといえば、
モーニングミーティング”

1958年から毎日モーニングミーティングが行われています。世界中の拠点に点在する様々な資産クラスの運用者、アナリスト、ストラテジスト等、各分野の運用プロフェッショナルが一堂に集まり、投資アイデアやマクロ経済など幅広い知見を共有し、活発な議論を行います。そこで生まれたアイデアが新たなヒントを創出し、精度の高い投資判断へつながっています。



(出所) ウエリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

※1 超過収益を実現している運用戦略: 2024年9月末時点。10年以上の実績を有する128の運用戦略を対象とした過去10年間の実績。

※2 運用資産総額: 1米ドル=143.04円で円換算

※3 運用プロフェッショナル: 運用担当者およびアナリストの総称。

米国マイクロキャップ株式のスペシャリストによる運用

当ファンドでは、高度な運用力を誇る運用体制を最大限に活用し、米国マイクロキャップ株式に特化した運用を行います。

運用チームの信念

米国マイクロキャップ株式は流動性が低く、多くの投資家が無関心なアセットクラスです。我々はこうした環境にこそ投資機会が存在すると考えています。当社の運用プラットフォームを最大限活用することで、運用会社としての情報優位性が鍵を握る米国マイクロキャップ株式への投資を可能にします。

当ファンドにおけるハイクオリティ企業を重視する運用は、資本不足や投機的な企業が多い米国マイクロキャップ株式市場において、ダウンサイドリスクの軽減に繋がると考えています。

当運用戦略の競争優位性

- ① 経験豊富なメンバーによる運用
- ② 独自のファンダメンタルズ分析
年間750回を超える企業（経営陣）とのミーティング実施
- ③ トレーディング
低流動性の株式取引に精通
- ④ ウェリントンの運用プラットフォーム活用
グローバル産業アナリスト54名、マクロストラテジスト14名、
グローバル株式トレーダー18名等のリソースをフル活用

経験豊富なメンバーによる運用



デビッド・B・デュバード

運用チーム
ポートフォリオ・マネージャー
シニア マネージング ディレクター
経験年数：32年
在籍年数：33年



ピーター・W・カルピ

シニア マネージング ディレクター
エクイティ・リサーチ・アナリスト
経験年数：22年
在籍年数：21年



ロス・クライン

ヴァイスプレジデント
エクイティ・リサーチ・アナリスト
経験年数：14年
在籍年数：2年



コーディー・アンポマー

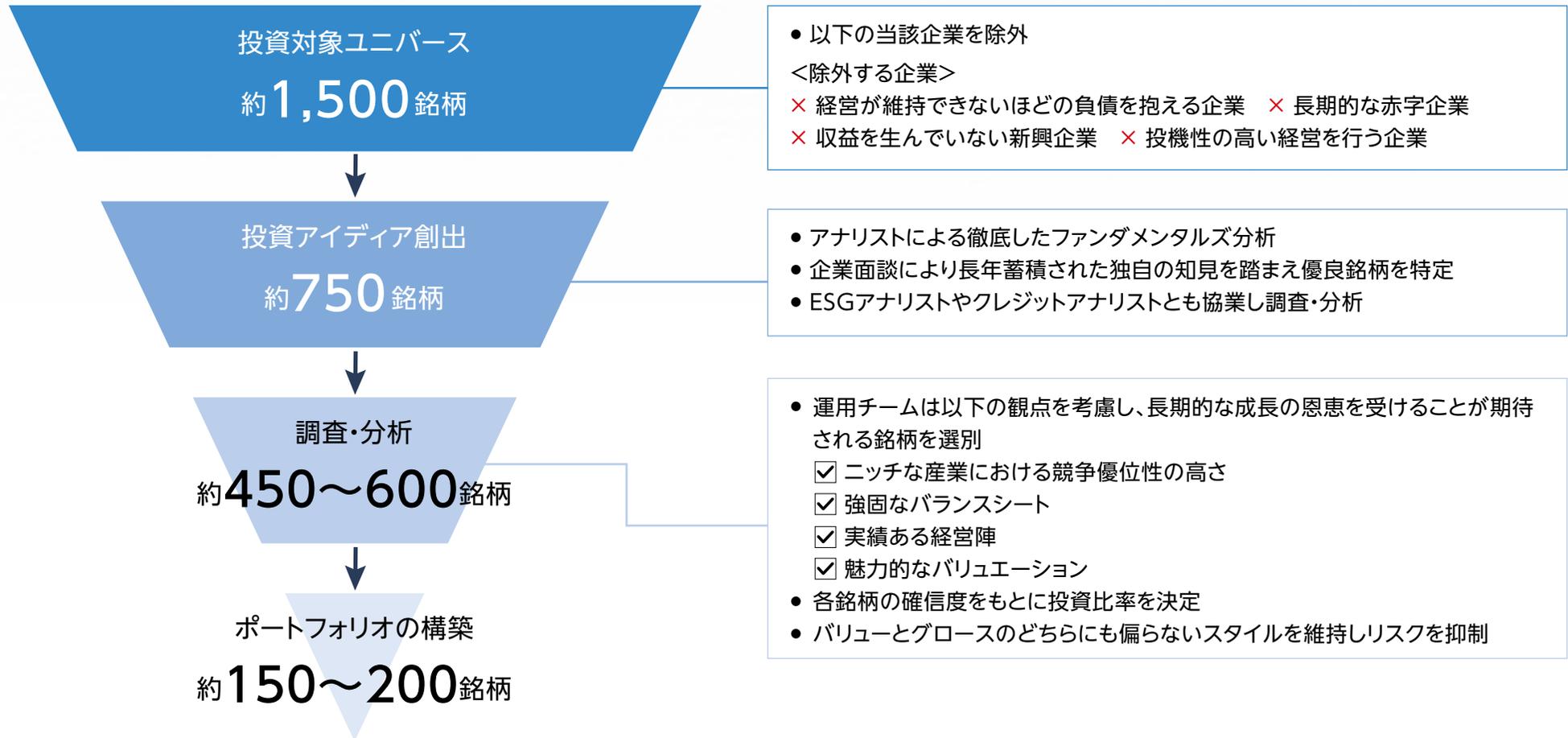
アシスタント ヴァイス プレジデント
エクイティ・リサーチ・アナリスト
経験年数：8年
在籍年数：2年

※上記は、2024年12月末時点

(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

運用プロセス

米国マイクロキャップ株式に対する独自の知見と企業調査力を活用した「ボトムアップ・アプローチ」を通じて長期的な成長の恩恵を享受することができる魅力的な投資機会の発掘を目指します。

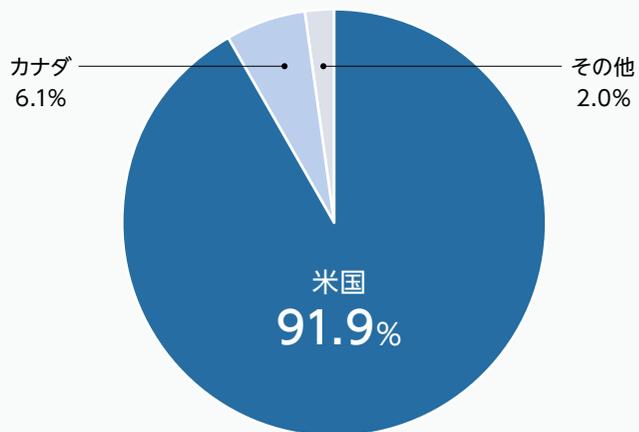


※上記運用プロセスおよび銘柄数は、今後変更になる場合があります。
(出所) ウエリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

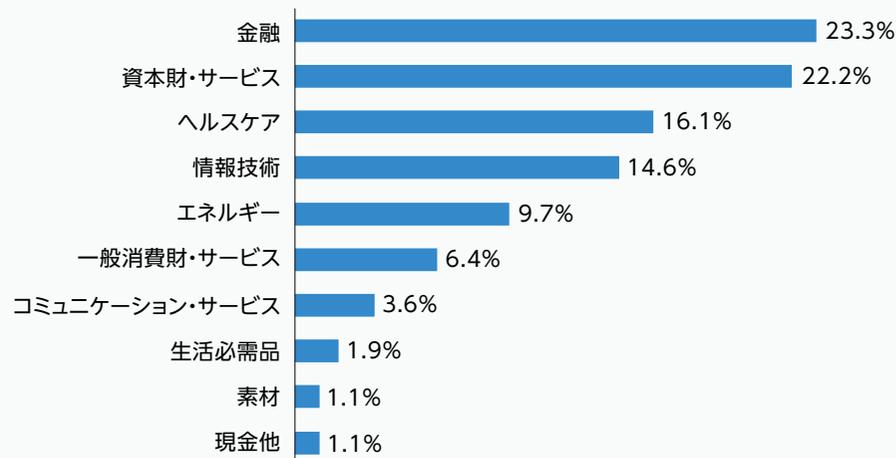
当運用戦略のポートフォリオ (2024年12月末現在)

国別構成比率



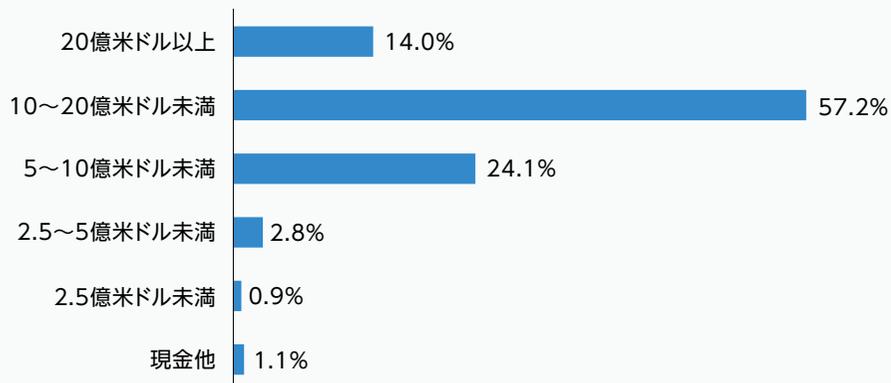
※四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

業種別構成比率



※業種はGICS (世界産業分類基準) による分類

時価総額別構成比率



特性値

組入銘柄数	206銘柄
予想株価収益率(12カ月先)	25.6倍
予想1株当たり純利益成長率(年率、1～5年先)	11.7%

当運用戦略のポートフォリオデータを示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。

(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

市場環境等についての評価、分析等は将来の運用成果を保証するものではありません。

当運用戦略の組入上位10銘柄 (2024年12月末現在)

組入上位10銘柄

	銘柄名	保有比率 (%)	業種	銘柄概要
1	セレクト・ウォーター・ソリューション	2.22	エネルギー	石油・ガス業界向けに水管理サービスを提供。水関連のリアルタイムデータ、水の調達、輸送、貯蔵、浄水、処理サービスのほか、試験や流体処理、廃水などのソリューションを手掛ける。
2	バレット・ビジネス・サービス	2.09	資本財・サービス	企業向けに給与処理、従業員給付管理、労働災害補償などの人事プラットフォームサービスを提供。全米の支店を通じて7,500以上のクライアントを有する。
3	REVグループ	2.05	資本財・サービス	特殊車両の設計、製造および販売のほか、関連するアフターサービスで部品・サービスを提供。救急車、消防車、シャトルバスなどの製造を手掛ける。
4	マグナイト	1.98	コミュニケーション・サービス	世界各地で事業を展開するオンライン広告ソリューション会社。リアルタイム・クラウドおよびビッグデータコンピューターシステムを手掛ける。
5	グリッド・ダイナミクス・ホールディングス	1.95	情報技術	企業がデジタル技術を活用してビジネスを改善するのを支援。安全でスケーラブルなクラウドベースのシステムを設計・構築。
6	アンコール・キャピタル・グループ	1.93	金融	グローバルな専門金融会社。世界中の主要な銀行、信用組合、公共事業提供者から債権の回収をサポートするサービスなどを提供。
7	エノバ・インターナショナル	1.88	金融	分析および機械学習アルゴリズムのオンライン貸出プラットフォームを通じて、従来の銀行から十分なサービスが受けられない小規模企業や消費者向けにローンや金融サービスを提供。
8	ブルーバード	1.86	資本財・サービス	電動バス等の低排出およびゼロ排出スクールバスの設計や製造におけるリーダー企業。
9	OFGバンコープ	1.85	金融	多様な金融持株会社。子会社を通じて、商業、消費者、自動車、住宅ローン、ファイナンシャルプランニング、投資顧問、証券仲介などの銀行および金融サービスを提供。
10	MDAスペース	1.83	資本財・サービス	宇宙産業にロボット工学、衛星システム、地理空間情報を提供。1969年設立来、450以上の宇宙関連のミッションを成功。

※業種はGICS (世界産業分類基準) による分類

当運用戦略の組入上位銘柄を示したものであり、特定銘柄の投資を推奨しているものでもありません。また、当該銘柄に投資することを示唆または保証するものではありません。

(出所) ウェリントン・マネージメント・ジャパン・ピーティーイー・リミテッド

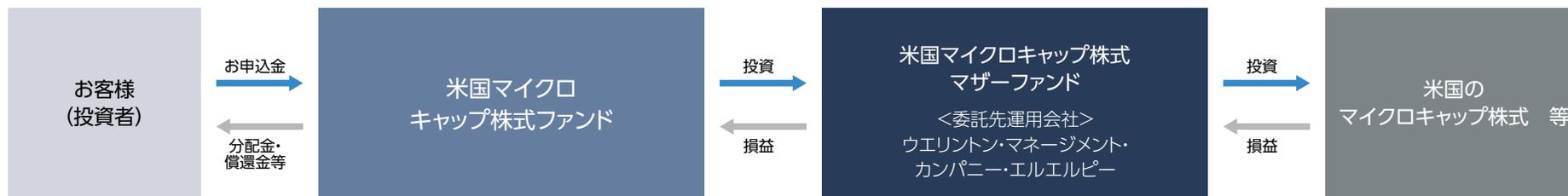
市場環境等についての評価、分析等は将来の運用成果を保証するものではありません。

ファンドの特色

1 米国(一部カナダを含む場合があります。)の上場株式(これに準ずるものを含みます。)のうち、主として相対的に時価総額が小型の株式に投資します。

※実際の運用は米国マイクロキャップ株式マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて行います。

<ファミリーファンド方式で運用します>



2 株式への投資にあたっては、競争優位性、成長性、収益性の高さを兼ね備えたニッチな産業におけるリーダー企業に着目し、ボトムアップ・アプローチにより銘柄を選別します。

●米国マイクロキャップ株式に対する独自の知見と企業調査力を活用した「ボトムアップ・アプローチ」を通じて長期的な成長の恩恵を享受することができる魅力的な投資機会の発掘を目指します。

3 マザーファンドにおける運用指図の権限の一部をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。

4 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。

5 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

<当資料で使用している指数の著作権について>

米国マイクロキャップ株式ファンド(以下、「当ファンド」といいます。)の開発は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社(以下、総称して「LSEグループ」といいます。)は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。

FTSE Russellインデックス(以下、「本指数」といいます。)にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE Russell®」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a)本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または(b)当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

■主な変動要因

株価変動リスク	株式の価格は、発行会社の業績や財務状況、株式市場の需給、政治・経済状況等の影響により変動します。一般的にマイクロキャップ株式は、株式市場の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があるため、株価変動リスクが相対的に高くなる可能性があります。
為替変動リスク	外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対する円高により、外貨建資産の円換算額は減少し、円安により、外貨建資産の円換算額は増加します。
流動性リスク	有価証券等の時価総額が小さく、または取引量が少ないとき、市況の急変、取引所の閉鎖等により、有価証券等の売買価格が通常よりも著しく不利な価格となることがあります。一般的にマイクロキャップ株式は、株式市場の平均に比べて時価総額が小さく取引量が少ないため、流動性リスクが相対的に高くなる可能性があります。
信用リスク	有価証券等の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券等の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券等の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となることがあります。

■その他の変動要因

カントリーリスク

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

お申込みメモ

購 入 時	購入の申込期間	当初申込期間：2025年3月4日から2025年3月17日 継続申込期間：2025年3月18日から2026年5月15日 ◆申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新する予定です。
	購入単位	販売会社が定める単位 ◆詳しくは販売会社にご確認ください。
	購入価額	当初申込期間：1口当たり1円 継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換 金 時	換金単位	販売会社が定める単位 ◆詳しくは販売会社にご確認ください。
	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
	換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として7営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
そ の 他	換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みに制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込不可日	以下に該当する日は、購入・換金申込みの受付を行いません。 ・ニューヨークの取引所の休業日
	信託期間	2046年2月16日まで(2025年3月18日設定) ◆ただし、投資者に有利である場合等は、信託期間を延長することがあります。
	繰上償還	投資信託財産の純資産総額が30億円を下回ることとなった場合、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となる場合があります。
	決算日	毎年2月18日(休業日の場合は翌営業日)
	収益分配	年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ◆将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
	課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ◆上記は、2024年11月末現在の情報に基づくものです。税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ファンド費用

お客様が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	<p>購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)</p> <p>◆詳しくは販売会社にご確認ください。</p> <p>◇ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。</p>
	換金手数料	ありません。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.3%

お客様が信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額×年率1.958%(税抜1.78%)	
		委託会社	年率1.10%(税抜) ◇委託した資金の運用の対価です。
		販売会社	年率0.65%(税抜) ◇運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.03%(税抜) ◇運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。	
		<p><外部委託先報酬></p> <p>マザーファンドの運用指図に関する権限を委託するウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが受取る報酬は、委託会社が受取る信託報酬から支払われるものとし、計算期間を通じて毎日、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に年率0.80%を乗じて得た額とします。</p>	
	その他費用・手数料	<p>監査費用：純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)</p> <p>有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)</p>	

○お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

○詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

委託会社およびその他の関係法人

委託会社 [投資信託財産の設定、運用の指図等]	SBI 岡三アセットマネジメント株式会社
受託会社 [投資信託財産の保管・管理等]	三井住友信託銀行株式会社
販売会社 [購入・換金の取扱い等]	販売会社の詳細につきましては、右記の委託会社フリーダイヤルまでお問い合わせいただくか、ホームページをご参照ください。

委託会社お問合せ先



フリーダイヤル
0120-048-214
(営業日の9:00~17:00)



ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■本資料は、SBI 岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。本資料中の図表等は、各出所先(ホームページを含む)のデータを基にSBI 岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものです。記載内容、数値、図表等は、本資料作成日時点のものであり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■購入の申込みに当たっては、「投資信託説明書(交付目論見書)」及び「契約締結前交付書面」又は「目論見書補完書面」を十分にお読みいただき、投資判断は、お客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

作成：SBI 岡三アセットマネジメント株式会社

 **SBI** 岡三アセットマネジメント

WELLINGTON
MANAGEMENT®